



渚滑っ子

教育目標：人間性豊かな児童の育成

～自ら気づき、自ら考え、自ら行動する子～

令和5年8月25日発行

文責：校長 佐藤 進也

様々な角度から考え、次に生かす

夏季休業期間は、これまでにない暑さでした。なかなか思うような過ごし方ができなかったのではと思います。17日から教育活動がスタートしましたが、子どもたちの健康や安全を考え、時には中止・延期することも想定しながら進めています。さて、7月に実施した学校評価（保護者評価）につきまして、全教職員の励みとなる評価をいただきました。保護者のみなさまには学校の教育活動に対しご理解やご協力をいただいていることを改めて感じました。学校としては数値だけに着目しておりません。一人一人がどのような意図をもって評価したのかを考えています。前期よりもよりよくする方策等を考えるのは、低い評価を上げることに難しいことと押さえています。後期も保護者のみなさまの期待を裏切らないよう、また、この学校に通わせてよかったと思ってもらえるように力を尽くしていきます（学校評価につきましては別紙でご確認ください）。

保護者のみなさまからいただいた記述評価の一部をご紹介します。

- ・「なぜ今それを指摘されているか」について、考えられるようになった（以前と比べて）。
- ・自分の気持ち、やりたいことを言葉で伝えられるようになったところ。
- ・子ども同士でコミュニケーションを上手にとっているように思えて、親として安心して見守ることができています。いつもありがとうございます。
- ・学校で、小さい子と関わり合える機会が、授業や朝の会、休み時間にあるのは、今後の人生にとってすごく貴重な経験になると思います。
- ・少人数という環境の中でいろんな面でごまかしがきかないので、逃げずにわかるまで取り組む姿勢は、成長したように思います。

子どもの姿を通して評価いただけることに、改めて感謝申し上げます。一方でまだまだ教育活動の発信が十分ではないかもしれない、またはニーズに合っていないかもしれないということを常に意識し、どのような内容を発信していくことが子どもたちの成長や学校のことをもっともっと知っていただけるのかを模索しながら2学期も進めていきます。

さて、26日間の夏休みが終わりました。2学期も子どもたちの成長につながる教育活動がたくさんあります。2学期の教育活動を通して、重点教育目標「関わり合える子」の中の、2学期に特に力点を置きたいこととして、2点挙げます。

- ・**望ましい人間関係の形成**…「望ましい」＝もめ事がない、仲が良い状態ではありません。時には衝突することもあります。単に我慢をして仲良くするのではなく、自分の気持ちを言葉にすることの大切さを改めて教えていき、お互いを分かり合えるところから大事にしていきます。
- ・**適度なハードル設定**…いつも簡単にできる目標を設定し、それができたとしても、必ずしも達成感につながりません。少し難しいけどチャレンジしてみるような目標を設定し、それを乗り越えさせられるような取組を進めていきます。

2学期もこれまでのように一つ一つの教育活動を意図をもって取り組んでいくとともに、できる限りその様子を学校だよりや学級通信、学校HPを活用して伝えていきますので、ご家庭や地域のみなさまの変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

「関わり合える子」を意識した教育活動

【学ぶ環境の選択肢を増やすために（学習サポート）】

7月24日・25日の2日間、希望者のみ夏休みの学習サポートを実施しました。

学習面では、夏休みの課題を進めたり、自分に合った課題を学校が提供したりと、一人一人に合った内容で教職員がサポートしました。学習サポートで大切なのは、自分なりの学習のペースをつかんだり、答え合わせの仕方を学んだり、「自学の基礎」を育むことです。

1日目は快適な環境の中での学習でしたが、2日目は湿度が高く、学習に向かうのも難しいことも考慮し、ゆったりと取り組みました。冬休みは12月25日（月）、26日（火）の2日間です。今回参加されなかったお子さんも次回の参加を検討いただければ嬉しいです。



【夏休み明けの子どもたちについて】

長い休みが終わり、2学期の学校生活がスタートしました。夏休みは起床・就寝時刻をはじめ、生活リズムが学校へ来ているときと違っていることと思われます。よって、学校の環境に慣れるのに時間を必要とする場合も考えられます。その際、子どもから何らかのサインが出される可能性があります（例えば、食欲がない、もしくは食べ過ぎる。頭痛や腹痛を訴える、赤ちゃん返りしたように甘える など）。



学校でもこれらのサインを見逃さずに支援をしていきますが、子どもに一番近いご家庭で気付くことが多いと思われます。そのときは遠慮せず学校にお話いただき、焦らずゆっくりと学校生活になれるように進めていきたいです。子どもを中心に置き、子どもが今何を思っているのかを知ることから始まります。その上で学校と家庭と足並みをそろえて進めていきたいと思っておりますので、この時期の子どもたちの様子を観察いただきますようお願いいたします。また、子どもの話をじっくりと聞いてあげてください。どんな理由であっても、まずは「受け止める」「理解する」の姿勢で子どもと向き合ってください。

お子様に関する心配ごとやお気づきのことがありましたら、学校までお知らせください。

※他にも相談窓口（北海道）があります。

▶子ども相談支援センター（北海道教育委員会）

0120-3882-56（24時間子供SOSダイヤル）

▶親子のため相談 LINE（北海道保健福祉部）

▶北海道いのちの電話（社会福祉法人）

011-231-4343（毎日24時間対応）



学校だよりだけでは伝えきれない日常の教育活動の様子を学校HPで紹介していますので、ぜひご覧ください。



9月の主な行事予定

1日（金）全校朝会、避難訓練

6日（木）特支合同野外学習

15日（金）定例職員会議

20日（水）学芸会総練習

23日（土）小学校学芸会・中学校学校祭

25日（月）振替休業日

28日（木）マラソン練習開始

※ノーチャイムデーは下校時刻が変わりますので、学級通信で確認ください。